

に定型文章が作られ、それに基づいて機械的に説明がなされることが多いということであったが、公式見解はそれによって得られるが、やはり相互の情報交換も必要で、同時に日本側としても既に訪問して得られた情報の共有化も重要で、今後、訪問視察する際に、それらを参考とし、同じ質問を繰り返さないように注意する必要があると痛感した。

また両国ともに英語に堪能な人が多いのも事実であるが、高齢者では英語が話せない人も多く、施設視察には、通訳の同行が必須条件であった。

謝辞：今回、自費でオブザーバーとしてご同行頂いた当研究班の共同研究者でもある青野允先生には終始、貴重なアドバイスと御指導を賜り、この視察が有益なものとなったことをここに紙面を借りて感謝致します。

#### 参考文献

- 1) 藤井 威：スウェーデン・スペシャル～その背景と現状～.ファイナ 2001;37:59-75.
- 2) Nordic Social Statistical Committee: Social Protection in the Nordic Countries. Copenhagen 2001